

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1272900430		
法人名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	グループホームはつとみ		
所在地	鎌ヶ谷市初富204-4		
自己評価作成日	令和5年12月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ACOPA		
所在地	我孫子市本町3-4-17		
訪問調査日	令和6年2月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様へ安心した生活の提供ができるよう、医療連携の充実を図り、ご家族と施設が密に連絡を取り合い、最期時まで笑顔で暮らして頂けるよう努めております。  
また、当たり前基準を高く持ち、職員が笑顔で入居者様に接することが出来るよう、日頃より職員同士のコミュニケーションを大事にし、管理職とも気軽に相談できる、安心して働ける環境を整備できるように配慮しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナの5類移行後の昨年9月に施設長が交代する中で、従来の運営について見直しを行い、随所に工夫や改善がなされたホーム運営となっている。運営推進会議は対面開催に戻し、地域包括支援センター職員や半数近くの利用者・家族の参加も得て活発な意見交換が行われている。久しぶりに利用者・家族全員が参加してのクリスマス会も盛大に行われた。昨今、コロナ感染の再拡大が見られる為、面会はまだ玄関で対応しているが、春先からは家族の要望を踏まえて、状況を考慮しながら室内での面会も検討している。施設長は就任後まだ日も浅いが、「あふれる笑顔」のスローガンの下、職員と一緒に、明るく、アットホームなホームづくりに挑戦しており、フレンドリーな職員たちの対応に家族から感謝のコメントが多い。バイタリティ溢れた施設長の今後の活躍に期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	事業者様で記入 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 株式会社ケアネット徳洲会	朝礼実施時に理念の唱和、会社・施設のスローガンを唱和しております。	運営法人の理念に加え当ホーム独自のスローガン「あふれる笑顔」を掲げ、施設長以下全員で実践に努めている。家族からも「職員の皆さん、明るく元氣よく接して下さいます」等の感謝のコメントが寄せられている。	
2	(2)	グループホームはつとみ 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	グループホーム協議会を行っていたがコロナ後より中断中。近隣の病院よりご招待いただき、クリスマスツリーの見学へ行きました。	町会には加入しているが、住民との直接的な交流は殆どない。移動販売車が近隣の病院に来た時に当ホームに対して声をかけてくれる仲間となっている。また、昨年12月には病院のクリスマスツリーを見に行区などの交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ペットボトルのキャップの回収を行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	堅苦しい会議ではなく、気軽に参加して頂き、話しやすい環境になるよう入居者様の参加も行ってあります。メールでの連絡を提案いただき新たに導入致しました。	コロナが5類に分類移行し、感染者も落ち着いてきたので、昨年9月から、運営推進会議は書面開催から対面開催に切り替え実施した。地域包括支援センターと多くのご家族と利用者が参加し、活発な意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	メールや電話で済ませずなるべく足を運び、顔を見てお話をさせていただくよう努めております。	高齢者支援課への書類提出がある場合は、なるべく持参し、状況報告をするなどして、コミュニケーションに努めている。地域包括支援センター職員に運営推進会議に出席頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修を通し、職員へ身体拘束の廃止を教育しております。職員同士でどのように対応したら拘束をしないで対応できるのか、日頃より話し合い、意識の向上に努め、委員会を毎月開催しております。	身体拘束をしないための研修は研修計画に従い、年2回実施している。身体拘束適正化委員会の議事録は全職員に回覧して周知徹底を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内虐待はありません。研修を通じ、虐待禁止を徹底、今後も教育研修行い徹底していきます。慣れによる知らず知らずの虐待が起きないように全職員で注意しあい、委員会等を通じて管理職への報告、、虐待につながる恐れのある事案の発生が無いが、注意して取り組みます。		

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修にて学んでおります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし、納得を得ています。契約後も疑問などある場合にはいつでも相談して頂けるようお声掛けをしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時など、最近のご様子をお伝えするとともに、その際、職員と話ができる環境を設けております。電話やメールなども活用し、相談や報告を行っております。	2か月ごとに家族会を開催し、毎回、平均16名の参加がある。家族への連絡や報告、相談について、電話や書面だけでなくメールでの要望があり早速実行している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎年本社より、職員アンケート実施しております。また、管理者にすぐに提案できるよう、話しやすい環境作りを心がけております。	施設長は職員と積極的に会話を重ね、職場の良き人間関係作りに努めている。日常の話し合いの他、月1回のフロア会議では職員から積極的な提案があり、運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個性が活かせるようにコミュニケーションをしっかりととり、向いている仕事を任せたり、管理者の方から向いているであろう分野に関して挑戦を促しております。また、表情などを見ながら無理をしていないか、気を配って適宜声掛けを行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人が考え、発信していけるよう、ケアカンファレンスや日々の業務にて働きかけております。希望があれば外部の研修も可能です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会が中断中ですが、法人本部にて各施設より代表職員が参加する研修を年1回開催しております。同法人の施設より訪問研修を受け入れ、連携を取りながら、様々な考えを知る機会を設けております。		

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時、ケアプラン更新時は必ず計画作成担当者より入居者様とご家族様に意向を伺います。入居前にお会いできる際はゆっくりとお話を聞かせていただきます。入居時が初めての方に関しても、こまめにお声掛けし、安心して頂ける関係の構築に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記同様。また、来訪時にはご様子をお伝えしたり、話しやすい環境の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に当施設で受けられるサービスについて説明を行い、適切に受けられるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護者の都合で振り回さない介護を心掛け、できることはやっていただきます。時には職員の悩みを聞いていただいたり、お互いに相談したり、ともに暮らす仲間のような関係を築けるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	それぞれのご家族様の状況に合わせ、可能な協力はしてまいります(外出支援など)。対応に関しましては、ご相談をさせていただきます。ご家族様からの提案も、可能な限りお受けするよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話等、ご家族様や御友人(ご家族へ確認後)との会話に制限はありません。スマートフォンをお持ちになってLINE等で連絡を取っている方もいらっしゃいます。	5類移行後は条件付きで家族や知人との面会受入をしている。家族に対して「利用者本人と一緒に外食等の外出支援」のお願いをしている。また家族と電話で話す・手紙を出す等の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の性格や相性、現在の関係性を見て適宜席替えを行うなど皆が穏やかに生活できるよう配慮しております。会話が難しい方も孤立しない様こまめに声掛け行ったり、職員の傍で過ごして頂くなどの対応を行っています。		

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去になった方のご家族から今の状況の連絡が来たり、近所でお会いした際には挨拶を行っております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	【わたしの気持ちシート】を活用し、本人の思い、希望の実現のためのカンファレンスを実施しています。職員間の情報の共有により思いをケアに活かせるように対応しています。	日常的な会話や普段の様子等からの気づきを、センター方式の「私の気持ちシート」に本人の言葉をそのまま記入し、それらの気づきを集約・検討して、そこからの思いや意向を職員間で共有し支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問時や入居時の面談にてご本人様やご家族様に聞き取りを行い職員に周知しております。入居者様の居室担当者を作り、生活歴がわかるようにまとめたものを作り情報の共有をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室担当者に情報を集め、毎月の会議で発信を行い、全職員が把握できる環境を作っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必ずご本人、ご家族とお話しし、複数の職員によるカンファレンスを実施し介護計画を作成しております。	本人や家族からの意向や希望を伺い、業務日誌や連絡ノート・複数職員の意見・私の気持ちシート等を踏まえカンファレンスで検討し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や連絡ノートを用い、タイムリーに情報を職員間で共有し、実践、検討ができるようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホームでのサービスの提供が出来ないご要望があった場合でも、出来ない理由を説明した上で、どのようにしたらご要望を実現出来るのか、他業種の方とも相談し、実践に向けて取り組んでおります。		

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の病院よりクリスマスのお誘いを受け、見学に行かせていただいたり、ご近所の直売所に買い物に出かけたりし、地域とのつながりを持てるようにしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は現在1カ所ではありますが、重度化に伴い、24時間往診可能な医療機関との連携も準備しております。訪問歯科とも連携し、必要な医療が受けられるよう支援しております。	入居時に、ホームのかかりつけ医への変更をお願いしている。医師の月2回・歯科医月4回の来診及び24H往診可能な系列医療機関との連携があり、家族アンケートでは約8割が医療面で心配はないと回答している。看護師の週1回の訪問及び24Hオンコール対応があり、いつでも相談可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護に加え、24時間対応の健康相談も受けております。体調不良時などこまめに連絡、相談し、適切なケアができるよう努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医でもある同系列の鎌ヶ谷総合病院にて安心して入院治療ができております。内科での入院の場合は主に往診医が入院時も主治医になり診てくれています。退院時も小まめに連絡を取り合い、スムーズな退院ができるよう調整しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期のあり方は契約時に必ずご家族の希望を確認し、その時期が近い方には医療・介護で十分に話し合い、ご家族にも方針の確認と説明をさせていただいております。その後の職員のフォローにも注意を払っております。	契約時に事業所方針「重度化した場合は必ず希望を再確認し、医師の説明・ホームで出来ること出来ないこと」の説明等を行っている。重度化した場合は医師の指示の下、家族の協力を得ながら、職員・看護師等多職種で連携しチームケアで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設内研修を行い、スムーズな対応が出来るよう指導しております。救急救命講習への参加も検討しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年1回の消防立会いでの避難訓練のほか、自主訓練も2回行っております。定期的に研修もを行い、災害時の対応指導も行っております。向かいのシルバーケア鎌ヶ谷とも、友好的な関係を維持し、非常時の協力が出来るよう努めております。	年1回の消防立会いの避難訓練のほか、職員一人時の夜間火災発生と日中火災の年2回の自主訓練を行い、その際、避難経路や時間等の再確認、名札の必要性等の気づきがあった。隣の系列老健とは、非常時の協力体制の構築を図っている。5日分の備蓄が用意されている。	

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	使用禁止用語の掲示や研修を行い、意識付けが出来るようにし、日頃より職員同士で注意しあい、尊厳とプライバシーの保護に努めております。	人格の尊重を基本に、節度ある言葉遣いが出来る様に指導している。定期的な研修会では使用禁止用語や接遇等について実施し掲示を行い、職員の意識向上を図っている。入浴や排泄時には、プライバシーや羞恥心に配慮した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何がしたいのか、どうしたいのか、それぞれの表現レベルに応じて言葉かけを使い分け、表情や行動などからも何か訴えたいことが無いのか、常に気にかけて支援させていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	命にかかわらない事であれば、可能な限りご本人の希望に沿って対応しております。職員の都合優先にならない用、職員同士気を付けながら支援させていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	あまりに奇抜な恰好や室温にそぐわない恰好をされている場合を除いてはご本人の意思を尊重しております。お化粧品なども禁止はしておりません。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前から献立の話をしたり、食事中も職員も同じものを食べ、会話を楽しみながら過ごすようにしております。	下拵えや片付け等出来る方は行っている。行事食は献立に組み込まれており、利用者にとって季節ごとの楽しみな食事となっている。咀嚼・嚥下状態に合わせた食形態の提供も行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事・水分量はチェックし、記録に残しております。自力で摂取することが難しい方へは介助を行ったり、食事形態を変えたりし、安定した食生活が維持できるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを全員実施しております。毎晩義歯をおあずかりし、洗浄・消毒をさせていただき、変化に気が付けるよう努めております。また、訪問歯科による口腔衛生確認もして頂き、指導・アドバイスを受け、ケアに活かしております。		

自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	間隔を見ながら必要に応じてお声掛けさせていただいております。ご自身でトイレに行けない方へも適宜誘導やパット交換を行い、不快感が少ない生活が出来るよう支援しております。	排泄チェック表から排泄パターンを把握し、声掛け・誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。また状況によりパット交換等を行い、排泄に関して気持ちよく過ごせるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操等運動を取り入れ、自然な排便が促されるよう支援しております。必要に応じて個別に腹部マッサージなども行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	自立の方はご自身で入浴日を決めていただくこともあります。気分が乗らない日は翌日に変更など、柔軟な対応をさせていただきますが、あまりにも日にちが開いてしまう場合には入りたくなくなるような声掛けを工夫し、入浴を促しております。	週3回の入浴支援を行っている。入浴を好まない方には時間や日にち等を替える等で柔軟に対応し、清潔保持に努めている。冬期はヒートショックが起きない様、温度・湿度に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	施設内は自由に行動できるようにしております。日中も居室で休まれたり、自由に生活して頂いております。ウッドデッキや外で職員と外気浴を行ったり、日の光に当たることで夜間の安眠につながるよう配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	最新の情報をファイルし、追加薬が出たり変更があった場合は情報を共有し、変化が無いが、気を配っております。服薬方法も確実に飲んでいただけるよう支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご希望があれば台所での調理や食器洗いなど参加して頂いております。その他、パズルや塗り絵など、ご希望に応じてご良いさせていただきます。テレビも演歌や動物番組などご希望を伺いながら提供させていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様の協力を得て外食や買い物にお連れ頂いております。施設でも外気浴や近隣の直売所へのお買い物などで外出の機会を提供しております。	気分転換と外気浴を兼ね、好天時にはホームの周辺を15～20分程度1対1で散歩し、途中直売所で買い物したり、近所の方に挨拶したりしている。また家族の協力のもと、外食等を楽しむ方もある。	



自己	外部	項目	事業所様記入 自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状お金をお持ちいただくと、しまい込んでしまったり、他の方にあげてしまう為、現金の持ち込みはお断りしております。おこづかいはお預かっておりませんが、施設立替にて必要な物は購入できる環境を整えております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば電話をおつなぎさせていただいております。手紙についても、ご希望を伺い対応させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや玄関は季節に合わせた装飾をさせていただき、季節感を出すよう努めております。食堂ではご希望に合わせた番組を提供させていただき、笑いのある穏やかな環境の提供に努めております。	玄関やフロア等には、季節に合わせた装飾がされている。日中殆どの方が過ごされる居間では、TVを見たり、離れた席ではおしゃべりしたりそれぞれ楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	認知症の状態に合わせて席替えなど行い、会話のレベルが近い方と一緒に過ごして頂けるよう配慮しております。他、特別仲が良い方に関しては近くにいられるよう配慮しております。ソファールはご自由に使用して頂き、テレビを集中してみたい方などが使用されています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたものを持参して頂いたり、安心するアイテム(写真など)があれば飾っていただいております。身体状況に合わせて配置換えなども行い、安心して安全に生活して頂けるよう配慮しております。	入居前から使用していた机やタンス等を持ち込み動線に合わせ配置している。家族の写真を貼ったり仏壇配置の方もいる。居室扉には名前が掲示され混乱の無いよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部は障害になるようなものをおかず、自由に使用して頂けるよう配慮しております。トイレの看板や居室の名札等、混乱せず生活して頂けるよう環境整備に努めております。		